

J H Q C (日本版医療MB賞クオリティクラブ) 発足について

(財) 社会経済生産性本部

発足経緯①

- MB賞とは
 - 1980年代に米国産業が国際競争力を失った際に、当時品質管理を徹底することで国際競争力を伸ばしていた日本企業の調査や知覚品質の研究などを通して、レーガン政権時代に米国産業の競争力回復を目指して創設された国家表彰制度です。
 - MB賞の大きな特徴は、申請組織に対して、その組織全体の課題と、経営の各領域における強みと改善すべき項目が記載されたフィードバックレポートが返されることです。これによって、申請した組織はこのフィードバックレポートを参考にして更なる経営の改善・改革に継続的に励むことが可能になります。

発足経緯②

- MB賞の医療機関への普及
 - 1999年度より、一般企業に加えて医療機関が新たに表彰対象として加えられ、これまでに9組織が受賞しています。現在、同賞へのチャレンジが、医療機関の経営改革の有効な取組みとして、チャレンジする医療機関が増えています。
- MB賞→日本経営品質賞へ
 - 日本では、1995年に日本版MB賞として「日本経営品質賞」が社会経済生産性本部によって創設され、民間企業と地方自治体を対象にこれまでに24組織を表彰しております。

発足経緯③

- 日本版医療MB賞研究会による活動
 - MB賞の受賞病院が徐々に日本でも注目を集めるようになり始めたことを機に、有志の医療機関が集まって、MB賞や日本経営品質賞について学ぶ研究会を発足しました。

※当時、医療機関にとっては、MB賞に関する関心が強かったことや、「日本経営品質賞」は医療機関を対象にしておらず、有志の医療機関が集まった独自の活動であったため、研究会の名称には「日本版医療MB賞」をおきました。

発足経緯④

- 日本版医療MB賞研究会による活動成果
 - 4年間にわたる活動の結果、現在のわが国の医療システムには、より多くの医療機関が継続的に経営の質を高めていくことを促進する社会的な仕組みが必要である、との認識に至りました。
 - そこで、研究過程で発見したシンガポールの国家表彰・認証制度(Singapore Quality Award/Singapore Quality Class)を参考にして、MB賞、及び日本経営品質賞の考え方を活用して経営の質向上に取り組む医療機関を認証し、認証された医療機関が相互研鑽しながら、継続的に経営の質を高めていく新しい組織「日本版医療MB賞クオリティクラブ（Japan Healthcare Quality Club；JHQC）」を発足することと致しました。

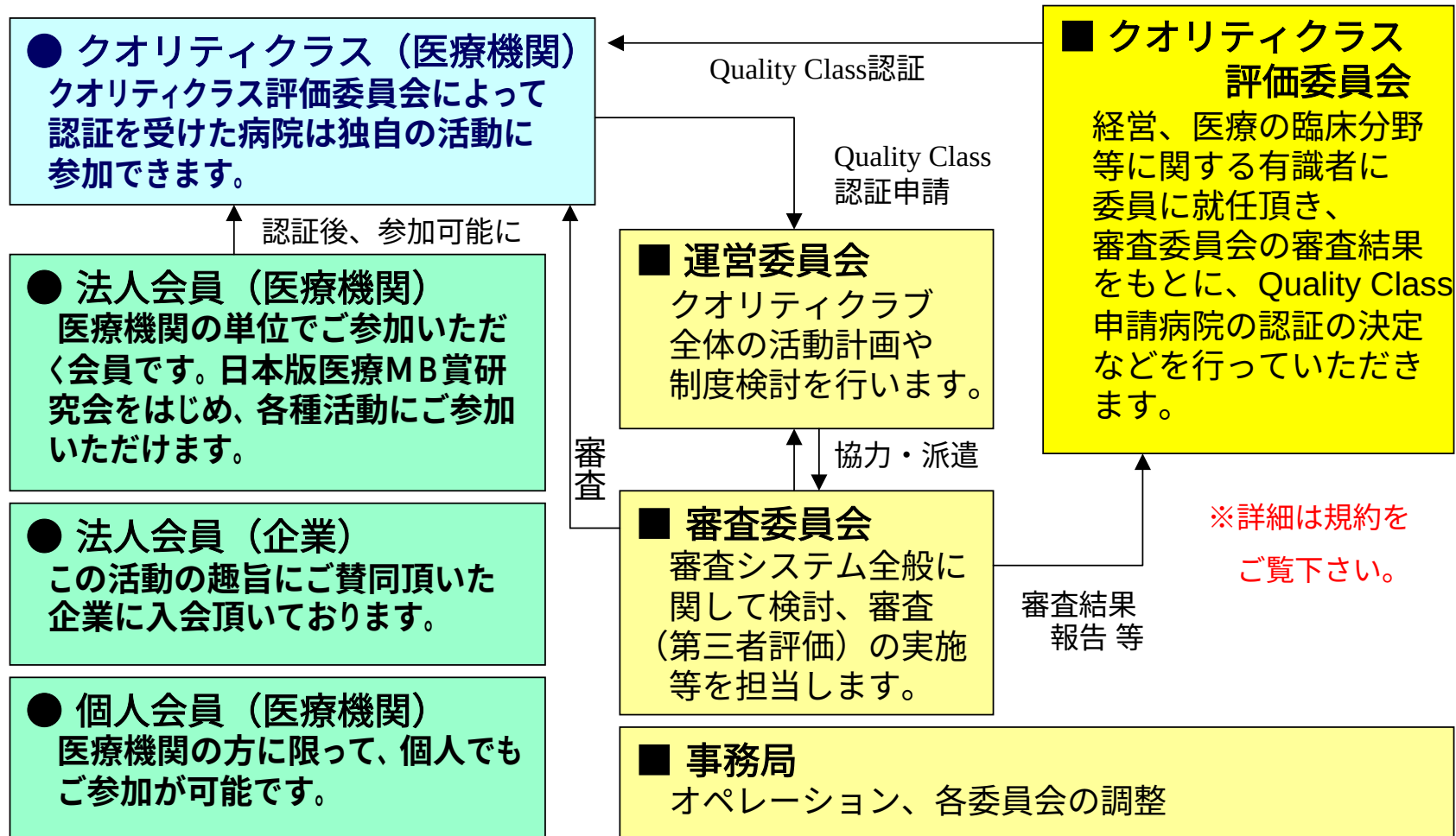
JHQC 発足趣旨（要約）

- 病院経営者、経営幹部、経営サポートスタッフの経営能力の向上（人材育成）を通じて、病院の経営の質を高め、社会インフラとしての医療システム強化と市民のQOLの向上を目指す。
- 今後の日本における病院経営のモデルを追求していく。
- 経営の質の向上を通じて、病院と各ステークホルダーとの新たな関係を構築し、より公正な相互関係を促進させる。

（規約より）

JHQCの組織概要

※法人会員（医療機関・企業）、個人会員から成る会員制の組織です。



JHQCの活動概要

※全ての方を対象にした活動と医療機関のみを対象にした活動などがございます。

● 日本版医療MB賞研究会

- ・患者満足、従業員満足などの理解を深める事例研究会（月例会）です。
- ・法人（医療機関・企業）、個人を問わず、ご参加頂ける会です。

● Japan Quality Class (クオリティクラス認証)

※クオリティクラス認証病院を対象にした活動です。

- ・メンバー病院間での相互訪問を行いながら、実践的な経営知識を学習する勉強会の実施
- ・「日本経営品質賞アセスメント基準」に基づいた審査の受審 など

● 米国病院マネジメント 先端事情調査団

- ・MB賞の受賞病院など、経営や医療の質が高いことで著名な病院や米国の政策をリードする団体を視察します。
- ・法人（医療機関・企業）、個人を問わず、ご参加頂けます。

● 経営品質導入ゼミ

※医療機関のみを対象にした講座です。

- ・「日本経営品質賞アセスメント基準」に照らして、自病院の理念や方向性などを見直し、より本質的な経営課題を導き出していきます。
- ・グループ演習を主とする5回の講座です。

● 各種 研修・セミナーの実施

- ・経営の質向上を考える上で参考となる研修やセミナーを随時開催してまいります。

クオリティクラス認証①

- 医療機関が経営品質向上プログラムを活用した経営の質向上に取り組み始めたこと、及び成果を上げていることを評価し、さらなる相互研鑽を促すことを目的とした認証制度。

認証制度 名称: Japan Quality Class for Healthcare

略称: クオリティクラス (認証)

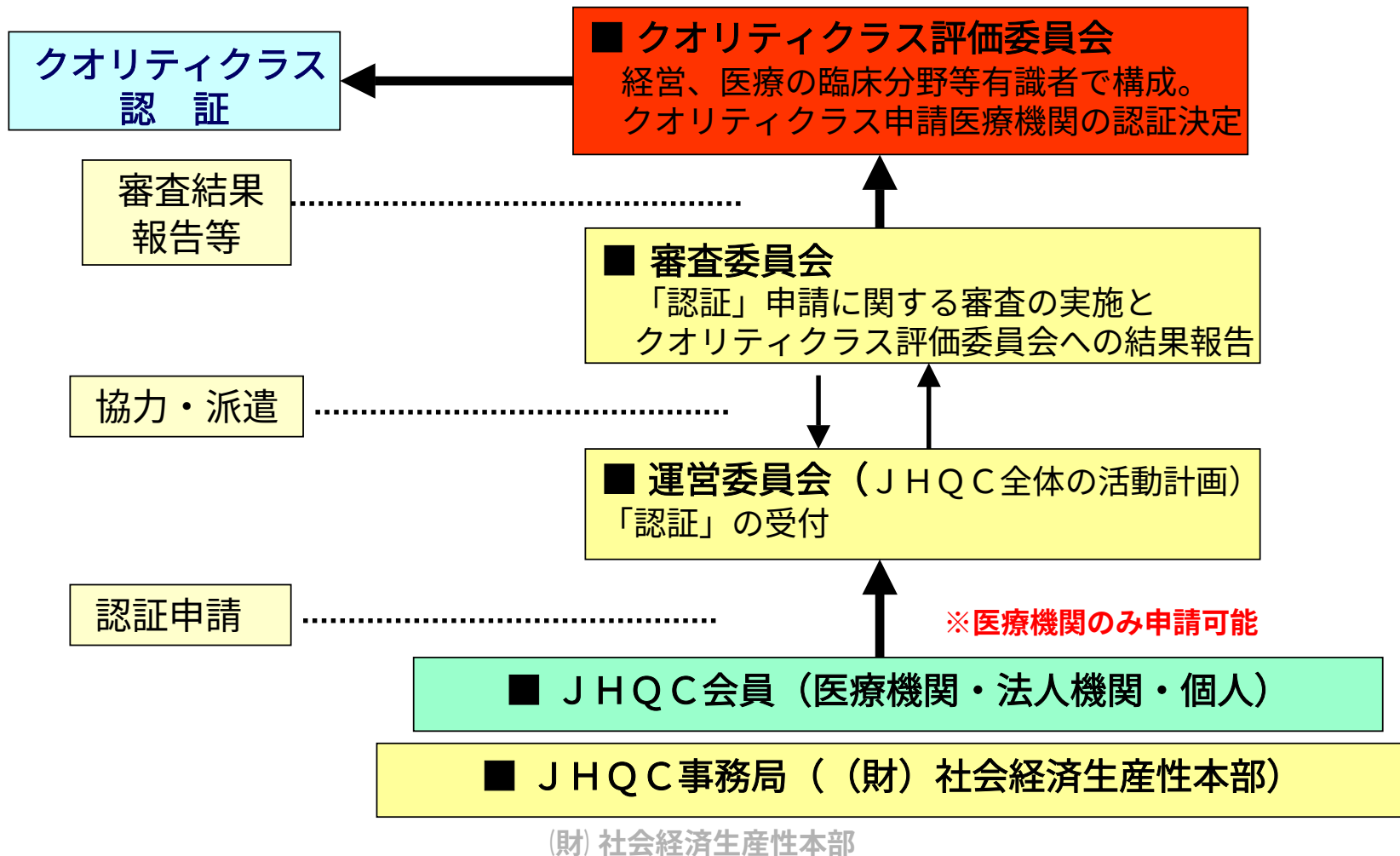
クオリティクラス認証②

・クオリティクラス評価委員会 委員一覧

委員長	嶋口 充輝 氏	慶應義塾大学 名誉教授・法政大学大学院 教授／ (財) 医療科学研究所 所長
委員	井原 哲夫 氏	慶應義塾大学 名誉教授・尚美学園大学大学院 教授
	岩崎 榮 氏	NPO法人卒後臨床研修評価機構 専務理事／ (財) 日本医療機能評価機構 理事
	亀田 俊忠 氏	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 名誉理事長
	北川 正恭 氏	早稲田大学大学院 教授・前三重県知事
	猿田 享男 氏	慶應義塾大学 名誉教授・(財) 医療研修推進財団 理事長
	高久 史磨 氏	東京大学 名誉教授・自治医科大学 学長
	高梨 智弘 氏	日本総合研究所 フェロー／ 元 (社) 日本医業経営コンサルタント協会 理事
	増田 宏一 氏	日本公認会計士協会 会長・日本経営品質賞委員会 委員
	森田 富治郎 氏	第一生命保険 代表取締役会長
	谷口 恒明	(財) 社会経済生産性本部 理事長

クオリティクラス認証③

・ JHQCとクオリティクラス認証



クオリティクラス認証④

- 認証の全体像
 - ① JHQC への入会
 - ② Aクラス認証
 - ③ 上位クラスの認証（検討中）



●上位クラスの認証（検討中）

高いレベルでの経営の質向上を評価・認証



●Aクラス認証

経営の質向上への取り組みはじめたことを認証し、更なる活動を奨励

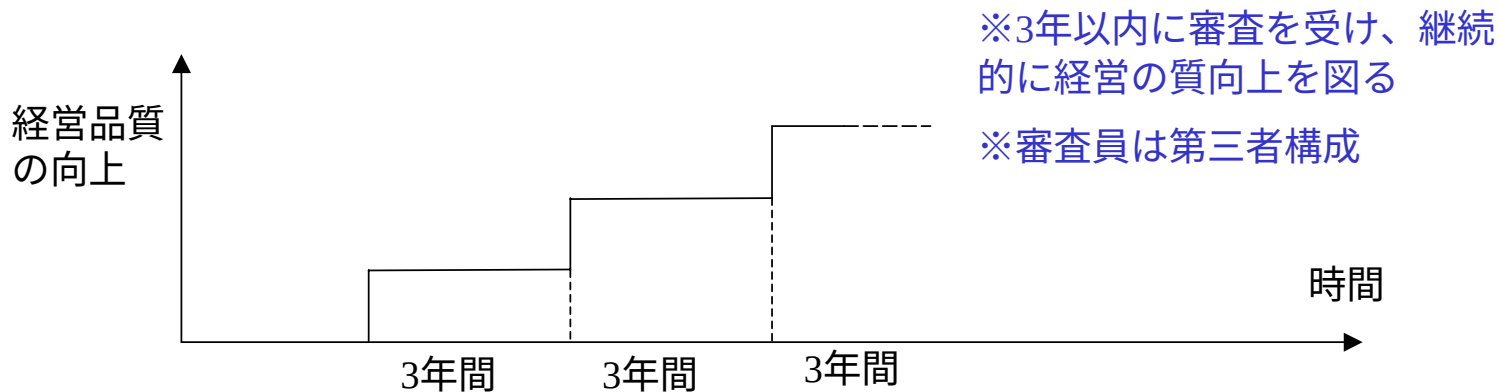


●JHQC 入会

(財) 社会経済生産性本部

クオリティクラス認証⑤

- 認証期間・認証の継続
 - 1度「認証」を受けた場合、3年間有効とする
 - 認証の継続には、3年以内に「日本経営品質賞アセスメント基準書」に沿って、「経営品質報告書」を作成・提出し、審査委員会からの「審査」を受けること



クオリティクラス認証⑥

- 主な活動・取組むことによる効果など①
 - カテゴリー別相互ベンチマーキング勉強会を通じた経営人材の養成を主な活動として行っています。
 - 2ヶ月に1回の頻度で認証病院をお互いに訪問しあい、「日本経営品質賞アセスメント基準書」のカテゴリーに沿って、経営を体系的に学習するとともに、お互いの実践例を情報交換しあいながら、研鑽を図ってまいります。
 - 「日本経営品質賞アセスメント基準書」に基づいた外部評価 受審による継続的な経営改善・改革の推進が図れます。

今後の予定

2009年4月 JHQC活動スタート

9月 上旬：米国病院マネジメント

先端事情調査団派遣

末日：第2回クオリティ

クラス認証 申請×切

2010年1月 中旬：第2回 クオリティ

クラス認証病院発表